

# FORZA 駒澤 選手紹介 PART6

## 原 一樹 (FW・4年)

後期最初の選手紹介は原 一樹選手です。サッカーを始める前は器械体操をやっていた側転ばかりしていたとか。中学校時代には生死の分かれ目を経験し、市立船橋高校時代の苦労話など本当に濃い話をしてくれました。前節では後期初得点も決めた原選手。前節では後期初得点も決めた原選手。前節では後期初得点も決めた原選手。前節では後期初得点も決めた原選手。

### FWしかやった事がない

幼稚園の器械体操をやっていた。道端でも側転してましたね(笑)。でもサッカーやりたいとお母さんに言ったら小学校に上がる時にサッカーに変えてサッカーを始めた。3年生になって地域でも県大会とか勝ってチームに入った奴に誘われてセレッソ川崎をやって自転車で30分くらいの新所に行ってきた。昔から足が速かったのが最初はトップ下をやっていたけどFWに移って点取るのが楽しくて、DFやったことがなくて今まで一度もなけり。人数もいたけど県大会の途中から試合に出て奥大で優勝しました。今でもそのコートと遊んでたりサッカーやってます。でももっとやるとは良かったと後悔してます。なんであの時桃鉄にはまったのか(笑)。

中学で身長が30センチ伸びたので小さかったです。やんちゃなガキでよくありがちな小学生でした。小学校で野球が流行っていたけど俺野球がバカ下手で打つのは出来るけど、守備の時落下地点がわからなかった(笑)。だから今でも(巻)佑樹がボールを蹴っても落下地点がわからないので蹴れないんですよ(笑)。習い事は習字を一瞬やっただけで全くだめです。とくとくのができないので。でも終ったら飽きるのでそれ引かれて行っていました(笑)。



考えてるチームでした。練習が始まればボールでフティング テニスボールでフティングと技術を大切にしているはず。だから本当に技術を大切にしているはずなんですけど(笑)。フットサルも当時から取り入れてました。フットサルは高校の体育館を使ってたけど夜7時からなので危ないから自転車で行ってはいけなくて親が車で送ってくれた人が参加してたけどお母さんは免許を持ってなくてお父さんは帰ってくるのが遅かったので近くのおばちゃんに送ってもらった身でした。まに行っていました。そこで技術はついた。だつたので中学の先生達は潰そうとしていた。逆境の中やりました。

この合宿を乗り越えれば入部したいになりました。そこで夢の10番は甘かったなと思いましたが、10年生の頃はAチームに入れたらもう来年のA下でやりました。監督と先輩にビビりながらサッカーやってて試合に出たいというよりも俺は場違いだなとAチームに行きたいというよりも付いていくのにはいいじゃないですか。1年の時に哲さん(若本コウ)がいたのですが挨拶して(若本)と返して(若本)と今日挨拶してくれよと(若本)と。憧れのAチームの先輩達でした。A下とBを歩き来る感じでした。試合でもスタメンで出るのもなかったし、船橋市立のセレクションには呼ばれるけど選ばれなかった。2年生にあって、そこにいくが市船に残ってAチームを目指すか選択しなきゃいけないです。葛藤しました。その時Aチームには行けないと自分で思っていたので。決めるのが春先で2月くらいに1、2年生の市船の選抜でえらばれたらAチームに遠征がある。そこにはいいたらAチームにいけない可能性があると言われていて、追加で参加することになりました。そこで怪我した選手がいてその代わりに俺が出る。そして、調子よくて点も取れたと言っています。そして、どちらか選択しと言われて今監督の石綿部長にパイオに行くとしたら、お前は市船に残って経験を積む方がいいと言われた。パイオに行きますと言いました。1年間試合から離れたので試合に出たかったんで。市船でやっていける自信もなかった。2年生からはパイオ登録になりました。パイオがクラブユースの大会に出た時柏・千葉ユースと試合をして奇跡的に勝ちました。市船がユースと試合をして7勝でなかつたので。

そこで千葉県のクラブ1位と千葉県の高校1位と市船が決勝で習志野に負けた。習志野とやったらパイオが勝つ。パイオと勢いで(笑)。その時に宇野先生がパイオを認めてくれました。その時に自信も付きました。パイオ行ったら干されるというイメージがあったけど俺はそんなこと考えずやっています。

### 10番を貰って涙が...

3年生の時Aチームに行ったら最初はスタメンではなかつたけど8月の関東大会で途中から出て5点くらい取って、次の決勝のスタメンに俺の名前があったんです。みんなに驚かれました。そこで方陣(豊田)と初めて2トップを組んで認められてスタメンで出れるようになり。インターハイ予選の時に初めて10番を貰って、実際に泣いて泣いて話して、俺10番だよ。言ったら電話越しに泣いてくれて夢の10番だった。死ねば嬉しかった。インターハイ予選では負け打って静岡で大会があったんですけど打てば入るドリブルすれば抜けた(笑)。その時Jの方から練習参加して欲しいと言われたけど大学に行きたいと言って断ってしまいました。それで駒澤のセレクションが早くにあったので駒澤に決めました。選手権の直前に帝と試合をやった時、俺が全然ため。監督から、お前10番扱いで引退してくれ、と言われた。次の丸岡との練習試合で点を結構取ったのでその話はなしになったんで(笑)。

決断は俺がフアールをもらって点が入ったので貢献したと思ってます(笑)。優勝で買った初めになりました。それで高校選抜に選ばれる初めての日丸を背負いました。駒大のサッカーには驚くことではなく自分が生きるサッカーだと思いました。生真意にやっていたというのがあって調子乗ってた時もあったけど監督は見捨てないでやらしてくれました。廣(廣井)とか佑樹(巻)は前からチームメイトを言ばせたいとかチーム自体を勝たせたいというのでやっていたと思うけど俺は上になつてから後輩たちのためにやっていると気持ちでやっています。

原 一樹 1985年1月5日生まれ 177cm 70kg 松飛台第2小 牧野原中 市立船橋高 家族構成は父、母、姉、一匹(ミニチュアアタックスフンド)。長所は明るい所、短所は明るいところが行き過ぎる事。好きな選手は田中達也(浦和) 趣味はボーリング。

発行人 永田博義  
スタッフ 香取真人 林 雄大  
齋藤卓也 土屋春佳  
塩田英美 中野成博  
星 宏樹

FORZA駒沢は毎週金曜に発行! お便り、感想などはこちらまで  
〒154 8525 東京都世田谷区駒澤1 23-1  
駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」Eメール  
forzakonazawa@hotmail.com  
TEL/FAX 03 (3418) 9566 発行人 永田 博義

巻 佑樹から見た  
原 一樹  
一樹はやる時はやる  
選手です。  
ハーゲ! (笑)

次節は中央大学と対戦!  
<場所> 古河市立古河サッカー場  
<日程> 10月13日(土) 12:00  
競技場へのアクセス  
JR高崎線「古河」駅下車、タクシー20分